

ボランティア だより

2021
3月



八丁平小1年 高橋 きらりさん



旭ヶ丘小1年 太田 悠翔くん



旭ヶ丘小2年
後藤 立樹くん



八丁平小6年 鶴谷 胡桃さん

雪かきレンジャー
作文コンテスト
結果発表!

ご応募ありがとうございました!

★写真は、入選に選ばれたみなさんです
★最優秀賞、優秀賞のみなさんは2ページで紹介しています



八丁平小6年 村井 徹くん



旭ヶ丘小2年 三影 風夢さん



白蘭小1年 池田 芽架さん



八丁平小6年 香川 彩乃さん



八丁平小5年 岡崎 音花さん



旭ヶ丘小3年 西島 壮太朗くん



八丁平小6年 石田 航太郎くん

今月の特集

★ボランティアインタビュー
池田さんご家族

★ボランティアお役立ち情報

発行・編集 室蘭市社会福祉協議会ボランティアセンター

〒050-0083 室蘭市東町2-3-3 ハートセンタービル

電話 0143-83-5031

FAX 0143-47-0123

本誌は、赤い羽根共同募金の
助成を受けて発行しています。



ホームページ・ブログ

室蘭社協

検索

雪かきレンジャー作文コンテスト 結果発表

雪かきを通じて、身近な手伝いやボランティア活動に関心を持ち「ボランティアの心」を養うために開催しています。室蘭市内の小学生の皆さんに、雪かきで頑張ったこと・気づいたことなどを作文にさせていただき、71名の応募がありました。入選された方には賞状と図書カードを贈呈しました。ご応募ありがとうございました！

最優秀賞

※学年及び50音順に掲載

低学年の部 白蘭小 3年 池田 栞暖さん 「人とのきずなをつなぐ雪かきレンジャー」

雪かきで困っている人の役に立ちたいと思い、お父さんと妹と雪かきレンジャーに登録した。行き先の家は民宿をやっていて、雪かきができずに困っていたので一生懸命頑張ろうと思った。「ありがとう」と声をかけてもらったので、やってよかった。雪かきレンジャーは人を助けるだけではなく、自分も気持ちも温かくなった。コロナで人と会えることが減ってしまったけど、雪かきでつながる人とのきずなを大切にしたい。

※次ページに、池田さんご家族のインタビューを掲載しています。



高学年の部 八丁平小 5年 福山 明音さん 「雪かきをして学んだ事」

雪かきをして、最後までやりとげる楽しさを知った。留守番の日、お母さんに雪かきを頼まれて一人で頑張った。いつも私は途中で遊んでしまったり、やめてしまうことが多かったが、お母さんからの頼み事なので頑張った。帰ってきたお母さんにほめてもらって、達成感と嬉しさを感じた。今までは、勉強でも分からない問題があると、あきらめてしまうことが多かったけれど、これからはあきらめずに粘り強く取り組み「やりとげた嬉しさ」を増やしていきたい。



優秀賞

低学年の部 旭ヶ丘小 2年 本間 明華さん 「今年さい後の雪かき」

妹と一緒に駐車場や物置前の雪かきをした。遠くのおじいちゃん・おばあちゃんのことを思い心配になった。今年は遠くへ出かけられず、がっかりすることも多かったけど、自分でできることや家でのお手伝いは増えた。これからもまわりの人たちのために、役に立てるようにがんばりたい。



高学年の部 八丁平小 6年 小松 奏太くん 「雪かきをしていて思うこと」

雪かきをすると、母や周りの人に喜んでもらえて嬉しいし達成感がある。勉強が終わって疲れた時は面倒に思うこともあるが、今までかけてもらった感謝の言葉を思い出して頑張っている。雪かきは運動にもなるし、感謝もされ一石二鳥。コロナでバスケの練習ができないのでトレーニングにもなる。これからも雪かきを頑張りたい。



八丁平小 6年 二階堂 花音さん 「優しい心」

ある日、近所の人々が道路や向かいの家まで雪かきをしていた。私は今まで自宅の雪かきしかしたことがないので驚いた。雪かきを終えた時、疲れたけどバツと晴れた気持ちになれた。私が最後まで雪かきを頑張れたのも、雪に埋まらずに登校できるのも、地域の人たちの「優しい心」のおかげだと気づいた。



入選

★写真は表紙に掲載

低学年の部

白蘭小 1年 池田 芽架さん
旭ヶ丘小 1年 太田 悠翔くん
八丁平小 1年 高橋きらりさん
旭ヶ丘小 2年 後藤 立樹くん
旭ヶ丘小 2年 三影 風夢さん
旭ヶ丘小 3年 西島壮太郎くん

高学年の部

八丁平小 5年 岡崎 音花さん
八丁平小 6年 石田航太郎くん
八丁平小 6年 香川 彩乃さん
八丁平小 6年 鶴谷 胡桃さん
八丁平小 6年 村井 徹くん

雪かきレンジャー作文コンテストは皆さんのご協力により開催しています

室蘭市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会

雪かきレンジャー作文コンテストの実施に当たり、室蘭市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会で内容について話し合います。

応募作品の審査も、運営委員の皆さんが協力してくれています。



(NPO)シニアネットいぶり

パソコンを通していきいきとした暮らしを送っていただくために活動している団体です。

雪かきレンジャー作文コンテストでは、文集制作のために応募作品のデータ入力をしていただいています。

室蘭市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会とは…ボランティアセンターの適正な運営をはかるため、福祉団体、ボランティア団体の代表者などにより設置されています(令和3年3月15日現在 全13名)。

雪かきレンジャー作文コンテストを振り返って

～ボランティアセンター運営委員会 入江 祐史 委員長のコメント～

この冬は数年に一度といわれる寒波や大雪に見舞われ、雪かきの機会が多くありました。

雪かきをすることで、家族や周囲の人から励ましや感謝の言葉をもらうことができ、子どもたちの今後の意欲につながります。

応募者の皆さんは人に対する思いやりや、社会に対する自分の考えをしっかりと持っており、心に響く素晴らしい作文ばかりでした。これからも様々な機会を通して、子どもたちの活躍の場を支援してあげることが大人の役目であると改めて感じます。

保護者の皆さまをはじめ、学校や関係機関の皆さまのご支援、ご協力に感謝いたしますとともに、心よりお礼申し上げます。



親子で雪かきレンジャーに参加 池田さんご家族

雪かきレンジャーに登録したきっかけは何ですか?

栞暖さん: 学校で雪かきレンジャー作文コンテストのプリントをもらって、書いてみたいと思ったからです。

陽祐さん: せっかく書くのなら、ボランティアの体験をさせてあげたいと思い、親子で雪かきレンジャーに登録することにしました。

雪かきをやってみて、気づいたことはありますか?

栞暖さん: 私たちが雪かきをしたのは、となりの家でした。雪かきができずに困っているなんて知らなかったです。朝早起きして、登校する前に雪かきをしています。もう一つ、広いお家の雪かきもしています。

芽架さん: お父さんが仕事で行けないときは、お母さんや妹も一緒に行きます。雪かきが終わった後は、おばあちゃんが喜んでくれてうれしかったです。

陽祐さん: 最初は慣れない様子でしたが、回数を重ねるうちに、娘なりに工夫して雪かきができるようになってきました。雪かきをしながら新しい遊びを思いつくなど、楽しみながらやっています。

お父さんから見て、娘さんの様子はいかがでしたか?

陽祐さん: 家族の一員として「自分から手伝う意識」が生まれたと思います。雪かきのために天気予報を気に掛けたり、進んで早起きをするようになりました。また謝礼を受け取ることで、自分の力で得たお金の重みも知ることができました。

これからボランティアを始める方に、メッセージをお願いします!

陽祐さん: あまり立派なことは言えませんが、日頃から娘には「困っている人の力になれるように」と話していたので、親子でボランティアに取り組むことで、良い社会体験をさせることができました。娘の将来の可能性も広がったように思います。ぜひ、多くのご家族がボランティアに参加してくれると良いですね。



栞暖さんは「私の作文が最優秀賞になったと聞いてびっくりしました。友達にもいいなって言われました」と教えてくれました。

芽架さんは「雪かきのお金で、妹に誕生日プレゼントを買うの」と笑顔で話してくれました。

池田さんご協力ありがとうございました。これからもよろしくお願いします 😊

雪かきボランティアのみなさん ご協力ありがとうございました

今年の冬は室蘭でも昨年から根雪となり、3月上旬には湿った重い雪が降るなど、雪かきに追われた方が多かったと思います。そのような中、ボランティアの皆さんは雪かきでお困りの方の自宅に出向き、活動してくれました。

今年は過去最多475人のボランティアが協力!

企業や学校などでのまとまった登録や、親子での登録が増えたこともあり、前年度と比べて100人以上多くの方に登録をいただきました。本当にありがとうございました。

雪かきの依頼は毎年増えており、令和2年度は259世帯の登録がありました。高齢化をはじめ、雪かきを頼める家族や知人が近くにいないなどの理由により、登録件数は年々増えています。また、大雪の時は依頼が重なることもあり、さらなるボランティアの力を必要としています。

そこで、雪かきボランティアの事前登録にご協力をお願いします!

あらかじめ登録をいただくことで、すぐにボランティアの結びつけができ、雪かきができない方の安心につながります。詳しくは室蘭社協までお問い合わせください。

雪かきを依頼した方の声

ていねいに雪かきをしていただき、大変助かりました。



ボランティアさんのおかげで安心して冬を越すことができました。

義援金・救援金へのご協力をお願いいたします

日本赤十字社室蘭市地区(室蘭社協内)では、大規模な自然災害の被災者のための義援金と、世界各地の紛争や自然災害の被災者等のための救援金を受け付けています。

件名	受付期間
①令和3年2月福島県沖地震災害義援金	令和3年5月31日まで
②平成30年7月豪雨災害義援金(西日本豪雨)	令和3年6月30日まで
③令和2年7月豪雨災害義援金(九州)	令和4年3月31日まで
④ Bangladesh 南部避難民救援金	
⑤ 中東人道危機救援金	

※海外救援金については、用途を指定しない「無指定海外救援金」も随時受け付けております。

義援金・救援金は全額被災地に送られ、支援のために役立てられます。



3月31日で受け付け期間を終了いたします

件名
①東日本大震災義援金
②平成28年熊本地震災害義援金
③平成29年7月5日からの大雨災害義援金
④令和元年台風第19号災害義援金

左記の義援金は、令和3年3月31日をもって受け付けを終了いたします。

多くの皆さんにご協力をいただき、誠にありがとうございました!



ボランティア活動保険の加入はお済みですか?

室蘭社協では、ボランティア活動中の万一の事故にそなえ、ボランティア活動保険の加入をおすすめしています。加入申し込みは室蘭社協で受け付けています。

	基本プラン	天災・地震補償プラン
保険料(1名分)	350円	500円

保険に加入いただけるのは、室蘭社協の会員または室蘭社協ボランティアセンターに登録されている方です。詳しくは室蘭社協までお問い合わせください。

お問い合わせ

室蘭社協ボランティアセンター(工藤) ☎83-5031 ※日・祝を除く9~17時まで

★次回のボランティアだより発送協力作業は4月20日(火)13時30分からボランティアセンターで行ないます。